

学校で国際協力を学ぶために、 JICAはどんなプログラムを 用意していますか？

「国際協力を日本の文化に」をモットーに掲げるJICAは、
全国の小中高生が国際協力を学べるよう、多彩なプログラムを用意している。

JICA

に聞きたい!



生徒たちも参加しながら楽しめる国際協力出前講座



JICAが制作した壁新聞。
マンガで読めるので子どもたちにも分かりやすい

JICA地球ひろば職員 川合優子 「国際協力を通じて、日本の子どもたちに、 視野を広げてほしいと思っています」



PROFILE

高校時代、青年海外協力隊の活動を知りJICAに興味を持つ。大学では法律学専攻。2006年入構。07年5月より現職。

A JICAは、市民の皆さんが身近なところで国際協力に参加できるよう、さまざまなプログラムを用意しています。その中でも力を入れてい事業の一つが、未来の国際協力を担う小中高生を育成するための「国際理解教育」です。

代表的なものは、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアのOB・OGによる「国際協力出前講座」です。内容は、世界の現状や民族衣装の紹介、歌やクイズを盛り込んだワークショップなどさまざま。各学校、先生の要望に応じて、開発途上国での生活を体験した元隊員らが、国際協力の現場の生の声を伝えています。参加した小学生からは「平和とは、貧しくないことではなく、笑って毎日が過ごせることだと感じた」などの感想も寄せられています。

また、先生たちが国際理解教育の授業で活用できる補助教材も作成しています。例えば、3月に改訂版が出された小冊子「学校に行きたい!」では、学校に行けない子どもたちの現状や国際協力についてイラスト入りで紹介しています。また、JICAのホームページでも「ぼくら地球調査隊」という子ども用のページを設け、水問題、砂漠化、児童兵などの問題を、アニメーションを使って分かりやすく解説しています。

さらに、国際協力について学んだこと、感じたことを発表する場として、全国の中高生を対象に「国際協力エッ

JICA地球ひろば

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24

TEL : 03-3400-7278 (代表)

開館時間(月曜休館) :

交流ゾーン : 火~日9時半~21時半

体験ゾーン : 火~金10時~20時

土日祝日10時~18時

ぼくら地球調査隊 : <http://www.jica.go.jp/kids/>

JICAの国内機関の連絡先はホームページ(<http://www.jica.go.jp/>)でご確認ください。

セイコンテスト」を実施しています。募集時期は毎年6~9月。夏休みの課題としても広く活用されています。昨年度の募集では、7万5010点(中学生の部5万1493点、高校生の部2万3517点)の応募があり、力作ぞろいでした。毎年、上位入賞者には、途上国でJICAのプロジェクトなどを視察する研修旅行が贈られます。

また、東京・広尾の「JICA地球ひろば」では、社会見学や修学旅行などで訪れた子どもたちに、館内ツアーも行っています。6月には、名古屋にも地球ひろばがオープンする予定です。

JICAは、全国17カ所に国内機関があります。国際理解教育に興味のある先生方、まずは最寄りの国内機関に相談してみてください。国際協力を通じて、一人でも多くの子どもたちが視野を広げてくれることを願っています。